

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <http://www.yaginet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 八木 秀夫
 (氏名) 三浦 明石

TEL 06-6266-7332

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	86,664	0.3	2,524	△4.5	2,683	△16.2	1,911	△6.7
27年3月期第3四半期	86,420	△6.3	2,642	65.6	3,202	45.8	2,048	82.9

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,753百万円 (△43.5%) 27年3月期第3四半期 3,101百万円 (54.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	227.62	—
27年3月期第3四半期	243.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	65,217	31,691	48.6
27年3月期	59,679	30,319	50.8

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 31,687百万円 27年3月期 30,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	1.7	3,050	54.8	3,250	13.7	2,150	21.9	255.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	10,568,000 株	27年3月期	10,568,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	2,169,327 株	27年3月期	2,169,255 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	8,398,702 株	27年3月期3Q	8,398,756 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に従い作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推し進める積極的な経済政策により、雇用環境の改善や輸出関連企業を中心に収益の改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方で、円安による輸入コストの上昇が続き、実質賃金は低下し個人消費の回復には至りませんでした。また、海外では米国において個人消費と雇用環境が改善し順調に景気回復が進みましたが、中国における経済成長率の鈍化や、世界的な景気減速懸念により輸出が弱含みとなり、さらに金融市場の混乱や原油安など、様々な要因で先行き不透明な状況となっております。

繊維業界におきましては、付加価値のある衣料品に一部回復の兆しが見られ、資材や原料は合成繊維の輸出を中心に好調となりました。しかし世界的な景気減速が徐々に顕在化し、さらに円安が慢性化するなか海外での人件費や原材料費の高騰で、より輸入コストが上昇しました。また良好な春の気候の後は梅雨に続き冷夏となり、後半は暖冬が続くなど天候不順の影響を大きく受け、厳しい環境の下、苦戦を強いられました。

このような状況の下、当社グループでは中期経営計画「Value Innovation 123」の二年目にあたり、重点施策である「中核事業の高収益化」「海外事業の拡大・新規事業の強化」「経営管理体制の高度化」を図っております。そのために差別化商材の供給力を強化し、優良取引先との取り組み深耕に注力し、また、香港を核にアセアンに縫製拠点を構築することで、繊維二次製品事業の拡大を目指すAGP（アセアン・ゲートウェイ・プロジェクト）と、タイを拠点にアセアンにテキスタイルの供給体制を確立するATC（アセアン・テキスタイル・コンバーティング）の両プロジェクトを進行させ海外事業の拡大に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は86,664百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は2,524百万円（前年同期比4.5%減）、経常利益は2,683百万円（前年同期比16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,911百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 平成27年3月期 百万円	当第3四半期累計期間 平成28年3月期 百万円	増減率 %
繊維セグメント			
原料分野	14,563	15,785	8.4
テキスタイル分野	10,825	10,869	0.4
繊維二次製品分野	58,108	56,601	△2.6
その他	2,632	3,091	17.4
繊維セグメント 合計	86,130	86,347	0.3
不動産セグメント	289	317	9.4
合計	86,420	86,664	0.3

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,012百万円増加し、50,035百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ525百万円増加し、15,181百万円となりました。これは、投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3,777百万円増加し、25,376百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ388百万円増加し、8,149百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,372百万円増加し、31,691百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,911百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結の業績予想に関しましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、平成27年5月14日に公表しました予想数値に対して、以下のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	127,000	3,500	3,700	2,460	292円90銭
今回修正予想(B)	116,000	3,050	3,250	2,150	255円99銭
増減額(B-A)	△11,000	△450	△450	△310	—
増減率(%)	△8.7%	△12.9%	△12.2%	△12.6%	—
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	114,055	1,970	2,858	1,764	210円13銭

当第3四半期連結累計期間の期初から低調でありました原料分野における高機能糸販売が、回復基調にはありませんが想定以上の遅れとなっているうえ、その商品もマーケットの志向により利益率の低い商品へのシフトが見られ、売上高、利益ともに当初計画に達することができない見込みです。

繊維二次製品分野におきましても、暖冬による影響で重衣料をはじめとして秋冬物が総じて販売不振となるなど厳しい状況で推移しました。また、円安が慢性化するなか海外での人件費や原材料費の高騰により輸入コストが上昇しましたが、販売価格に転嫁することが思うようにできず、利益を圧迫する結果となりました。

このような状況から、平成27年5月14日に発表しました連結業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,874,229	2,923,621
受取手形及び売掛金	29,436,115	33,125,760
電子記録債権	3,503,752	4,175,492
有価証券	93,478	10,001
たな卸資産	7,055,402	7,802,815
繰延税金資産	605,012	725,379
その他	1,601,073	1,439,720
貸倒引当金	△146,201	△167,165
流動資産合計	45,022,861	50,035,625
固定資産		
有形固定資産	4,371,811	4,418,949
無形固定資産		
のれん	1,152,851	960,709
その他	31,930	27,917
無形固定資産合計	1,184,782	988,626
投資その他の資産		
投資有価証券	6,844,377	7,389,711
その他	3,168,548	3,370,463
貸倒引当金	△913,282	△986,052
投資その他の資産合計	9,099,644	9,774,122
固定資産合計	14,656,237	15,181,698
資産合計	59,679,099	65,217,324
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,461,469	10,864,017
電子記録債務	751,151	1,863,501
短期借入金	3,601,930	6,884,946
未払法人税等	670,440	475,082
引当金	712,541	396,686
その他	4,401,848	4,892,147
流動負債合計	21,599,381	25,376,382
固定負債		
長期借入金	4,347,870	4,747,870
繰延税金負債	1,021,210	1,057,438
引当金	66,341	66,317
退職給付に係る負債	933,601	964,306
その他	1,391,529	1,313,249
固定負債合計	7,760,552	8,149,181
負債合計	29,359,934	33,525,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	27,179,565	28,710,850
自己株式	△1,629,445	△1,629,576
株主資本合計	27,443,308	28,974,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,425,889	2,462,534
繰延ヘッジ損益	283,304	41,153
為替換算調整勘定	31,607	30,546
退職給付に係る調整累計額	130,459	178,432
その他の包括利益累計額合計	2,871,261	2,712,667
非支配株主持分	4,595	4,629
純資産合計	30,319,165	31,691,760
負債純資産合計	59,679,099	65,217,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	86,420,459	86,664,908
売上原価	75,693,491	75,700,429
売上総利益	10,726,967	10,964,479
販売費及び一般管理費	8,084,710	8,439,884
営業利益	2,642,256	2,524,595
営業外収益		
受取利息	14,622	16,030
受取配当金	132,870	135,641
持分法による投資利益	127,696	63,801
為替差益	333,281	31,511
その他	53,401	62,759
営業外収益合計	661,872	309,744
営業外費用		
支払利息	38,993	41,102
売上割引	20,276	15,921
貸倒引当金繰入額	30,922	66,029
その他	11,217	28,201
営業外費用合計	101,409	151,255
経常利益	3,202,719	2,683,083
特別利益		
投資有価証券売却益	-	205,010
関係会社清算益	-	23,705
特別利益合計	-	228,715
特別損失		
出資金評価損	22,266	-
特別損失合計	22,266	-
税金等調整前四半期純利益	3,180,452	2,911,799
法人税等	1,132,253	1,000,017
四半期純利益	2,048,199	1,911,782
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△40	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,048,240	1,911,748

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	2,048,199	1,911,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	500,219	36,645
繰延ヘッジ損益	476,815	△242,150
為替換算調整勘定	10,037	△1,061
退職給付に係る調整額	66,224	47,973
その他の包括利益合計	1,053,297	△158,593
四半期包括利益	3,101,497	1,753,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,101,532	1,753,154
非支配株主に係る四半期包括利益	△35	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。